



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区
西新宿1-7-2
(スバルビル)

NO. FAN-027

発行 47年10月16日



F A - 2 0 0 前脚及び主脚のスナップリング装着方法について

1. まえがき

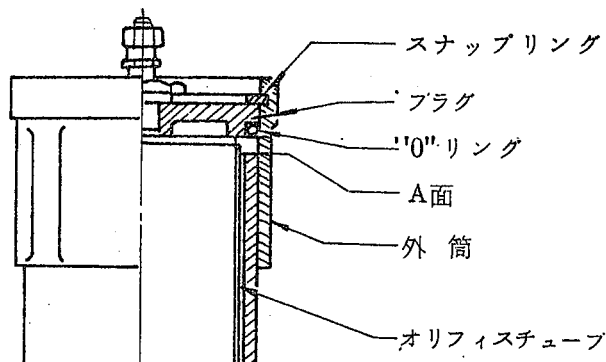
F A - 2 0 0 の前脚及び主脚には数個のスナップリングが使用されておりますが、分解組立時にこれらの装着を不完全に行ないますと、飛行時等の振動荷重等により外れるおそれがあります。特に外筒上部のスナップリング(第1図参照)が外れますと、オレオ内の空気圧及び作動油が急激に抜け、重大な事故を招くおそれがあります。

そこでスナップリング装着に関する一般的注意事項として、整備点検の際はつぎの点に注意して作業を実施していただくよう、お知らせ致します。

なお、2項には前・主脚柱の外筒上部のスナップリングを中心に説明してありますが、他の部分(外筒下部、*オリフィスチューブ、前脚シミダンパー等)についても同様なことが言えますので、本項目を参考にさせていただきたく思います。

FAN-027

PAGE 1 OF 4

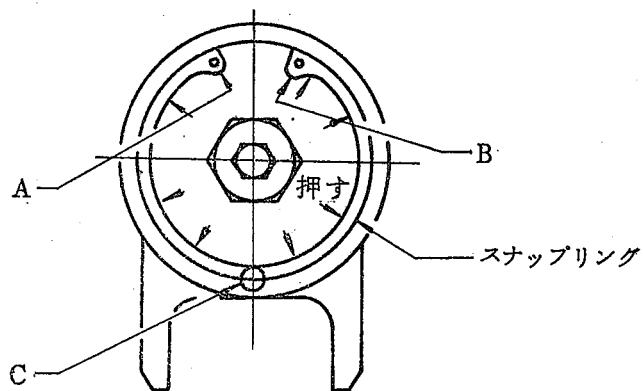


第1図 脚柱上部

*
5 1号機以降

2. スナップリング装着に関する一般的注意事項

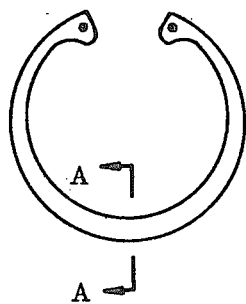
- (1) 取付溝にゴミ等が付着した状態のままスナップリングを取り付けてはならない。
- (2) 外筒上部のスナップリング取付部は、オレオの気密性を高めるため、プラグ（第1図参照）とスナップリング（第1図参照）間のスキマは極力少なくなるよう（“O”リングの Squeeze を適性に保つため）に設計されているので（そのためA面に調整用シムが入っている機体もある）、スナップリング下面とプラグ上面が当り、溝に入りづらい場合も考えられますので注意して下さい。
- (3) スナップリングが溝に完全に嵌込まれていることを、次の手順により確認して下さい。
 - a) スナップリングの両端部（第2図A, B）及び脚柱上部金具の廻り止め取付用溝部（第2図C）の3点が、完全に溝部に嵌っていること。
（斜め上から見れば容易に確認できる）
 - b) 内側から第2図の矢印の方向に押し込む。



第 2 図 脚柱を上から見る

(4) スナップリングは通常打抜き加工で作られるために、第 3 図に示されているように「裏」 「表」がある。

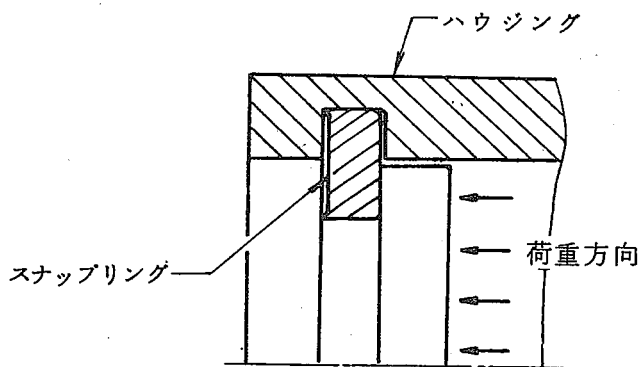
スナップリングの飛出しを防止するため、第 4 図に示されている様に凸面側が荷重を受けるように組立てられている。このため分解組立時には誤りのない様注意して下さい。



第 3 図

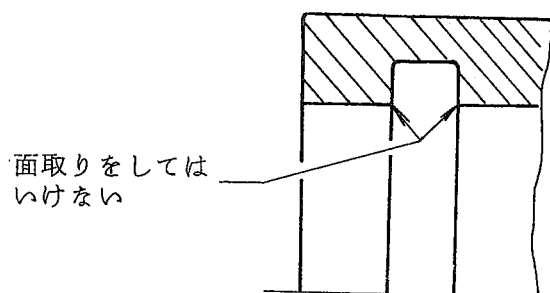


断面 A - A



第 4 図

- (5) スナップリング取付溝はリングの飛出しを防ぐため、シャープエッジになっているので傷を付けたり面取りをしてはならない。



第5図 スナップリング取付溝部

- (6) スナップリングを再装着する場合にはリングのへたり（リングの外径が小さくなっていないか、異状な残留変形を生じていないか）を検査して、異状と見られる場合は新部品に交換することが望ましい。